



2021 学校要覧

学校法人 日本体育大学 日本体育大学附属高等支援学校

〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番1号

TEL 0152-67-9141 FAX 0152-67-9142

URL;<http://www.s-nittai.ed.jp>

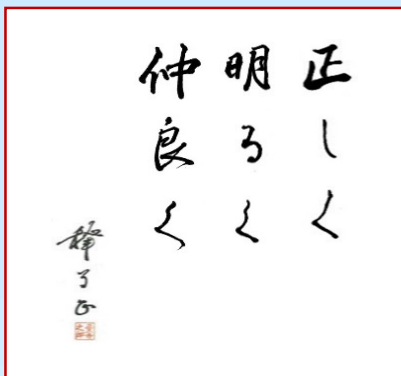
E-mail;fuzoku.info@s-nittai.ed.jp



NITTAIDAI

1 校 訓

我らは 与えられたこの命に
 無窮の価値を創造し
 一日一日を喜びと精進をもって
 正しく 明るく 仲良く
 生きていくことを誓う

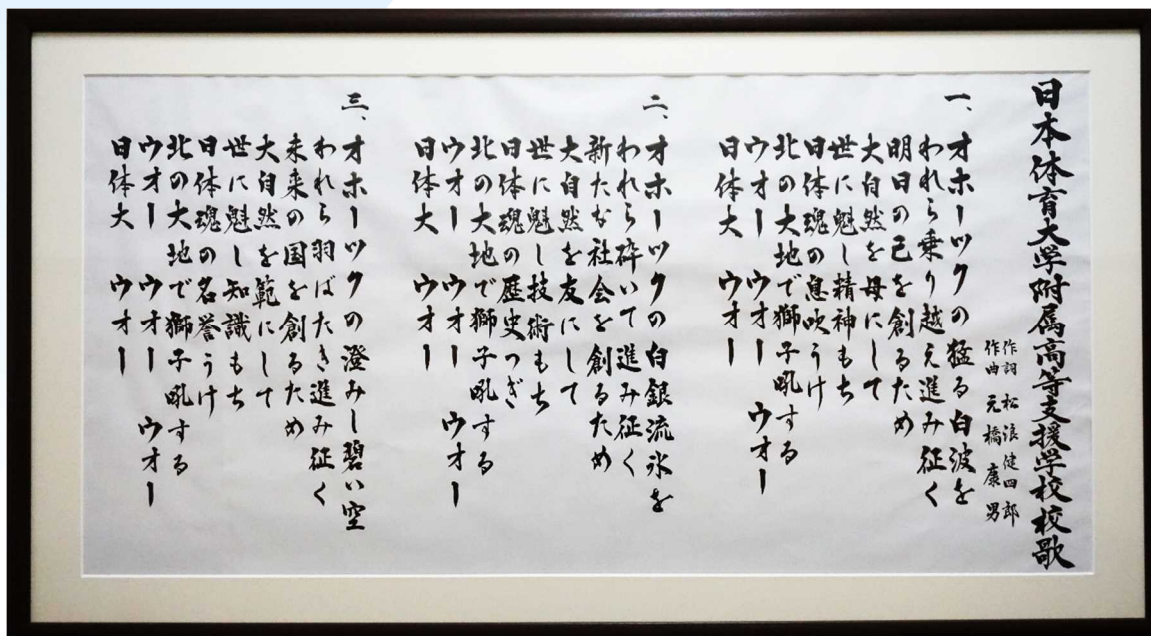


2 校 章

1955年に制定した日本体育大学のシンボルマーク。六つの花卉を持った花桜でデザインされ、中央の三つの花卉は体育大学のTをあらわし、背後の三つの花卉はそれを支える同窓、保護者、社会をあらわしている。本校は、日本体育大学の附属校としてこのシンボルマークの中央に高等支援学校を示す「高」を配した。



3 校 歌



4 学校概要

学校所在地	北海道網走市大曲1丁目6番1号 女満別空港よりバスで約25分（バス停より徒歩5分） 網走駅よりバスで10分（約2km）
教育施設	(1) 寄宿舍 (2) 校舎 (3) グラウンド (4) 屋内走路（NARS：ナース） (5) クラフトハウス（木工室） (6) 校外実習場 網走湖畔園地（借地農地） (7) 園芸用地 校地内
生徒数	1学年男子40名 定員120名
対象となる生徒	知的障がいがあり、運動、スポーツに興味関心がある生徒 ※知的障がいがあるとは ○医師の診断がある、又は、公的な専門機関において知的障がいと判断される ○療育手帳を取得している（取得見込みを含む）

5 沿革

日本体育大学の新たな挑戦（共生社会の実現に向けて） 2014年 学校法人日本体育大学 理事会決定

創立125周年を迎えた学校法人日本体育大学は建学の精神「體育富強之基」を掲げ全国に体育・スポーツ指導者を輩出してまいりました。

スポーツ文化や国民の体力向上にくわえ人々に希望と勇気を与えてきたことも日体大の誇りでもあります。

平成26年度からは「医療も日体大のフィールド」とし保健医療学部を設置しました。

一方、スポーツ基本法が施行され障がい者のスポーツ教育の必要性も生じ日体大は附属高等支援学校を世に先駆けて設置することになりました。スポーツ教育を基軸に労作（農業）教育と情操（芸術）教育を行う個性的な学校です。共生社会への新たな日体大の挑戦であります。

- 2012. 8. 8 網走市、学校法人日本体育大学訪問・候補地提案
- 2013. 2. 22 学校法人日本体育大学理事・評議員会で、特別支援学校高等部の創設計画決定
- 2013. 4. 1 網走市及び学校法人日本体育大学に準備室を設置（開校事務開始）
- 2014. 4. 7 学校法人日本体育大学「北海道学園」（仮称）網走事務所開設
- 2015. 4. 1 東急建設・早水組工事着工
- 2016. 5. 30 竣工式挙行〔校舎・寄宿舍完成・内覧会の実施〕
- 2016. 6. 20 北海道知事認可〔日本体育大学附属高等支援学校に校名決定〕
- 2017. 4. 1 日本体育大学附属高等支援学校開校
- 2017. 11. 19 開校式典合議
- 2018. 2. 1 NARS（ナース：屋内走路）完成式典
- 2019. 9. 21 第1回学校祭（日体フェス）開催
- 2020. 3. 8 第1回卒業式挙行
- 2021. 3. 7 第2回卒業式挙行



6 学校経営方針

(1) 学校教育目標

「自らの無限の可能性を信じ、たくましく (学び) 生きる」

- ・健やかな身体を育み、思いやりのある心の育成
- ・働くことを学び、自立しようとする意欲の育成
- ・豊かな感性を育み、社会生活を送る資質の育成

* (学び) は、生徒が「学び方」を知り、「学ぶこと」の大切さを常に持ち続ける事を目指し、学校教育目標に表記した。

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ①生徒一人一人の人権を尊重し、生徒の特性等に配慮した専門的な教育を推進する。
- ②スポーツ教育を主軸とした教育をとおり、健やかな体と心を育む。
- ③生徒の進学・就労に必要な資質・能力を最大限引き出し、地域社会で自立した生活を送る意欲・態度を養う。
- ④健康で豊かな人間性を育み、潤いのある社会生活を送るための知識・技能・態度を育成する。

(3) 学校教育目標を達成するための経営方針

- ①生徒の自己実現を目指し、教職員と保護者が密接に連携した学校づくりを推進する。
- ②生徒の教育的ニーズを的確に把握し指導するために、組織的な学校運営を推進する。
- ③地域資源を活用した教育活動や生徒間の交流及び共同学習を推進する。
- ④教職員の指導力を高めて、保護者及び地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ⑤知的障がい者スポーツ教育の先駆的役割を果たすために、計画的・実践的な指導を推進する。
- ⑥行政、福祉及び医療関係機関、協力企業等と連携して「キャリア教育」の充実を図る。
- ⑦進路指導、卒業後支援など、協力企業や関係機関との連携を強化して実現を図る。

(4) 学校教育目標を達成するための指導の重点

※ICT活用による指導の充実と教師の情報活用能力の向上

- ①生徒の能力・特性に応じたカリキュラムマネジメントの確立に努める。
- ②生徒の学習及び生活上の困難さを支える指導の充実に努める。
- ③自ら学び、行動しようとする意欲を培い、生きる力の基礎となる学習指導の充実に努める。
- ④生徒の課題に応じた実践的生活スキルや社会性を高める寄宿舎教育の充実に努める。

(5) ～学校スローガン～

「学校を創造する誇りと喜びを持ち、すべては生徒のために邁進する」

校長
島崎 洋二



挑 戦 !

オホーツクの大地で **獅子吼**する!

自然に恵まれた地の利を利用して
心躍る体験を作り出し
豊かな人間性を育む

日本体育大学附属高等支援学校は
地域との関わりを大切にする開かれた学校づくりを
目指します

地域社会で生きるチカラを培う【3つの柱】

スポーツ教育

体育、部活動
を通して
たくましい体と
健やかな心を育む

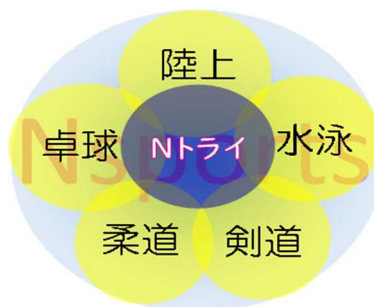
労作教育

作業学習、就労実習
を通して
働くことの
楽しさ尊さを培う

情操教育

芸術、ダンスなど
様々な学習を通して
豊かな感性を養う

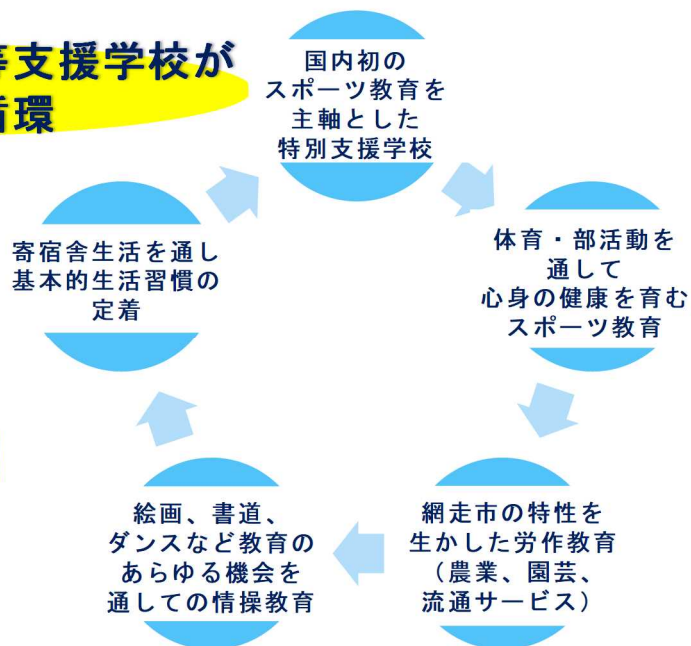
本校で行うスポーツ活動全般を「Nsports」と呼び
様々なスポーツにトライしています。
週6時間「Nsports Time(体育授業)」を設け
授業の中で専門的にスポーツを学び・楽しみ取り組
んでいます。



自分に合ったプログラムで活動できる、個性を生かせる体育授業。
様々なスポーツを学び、経験することで、楽しさや喜びを実感し
自信につなげることを応援します。

日本体育大学附属高等支援学校が 生み出す自立への好循環

生徒一人ひとりの
人権を尊重しながら、
障がいの特性に応じた
専門的な教育を
おこなう



8 在籍生徒数・学級編成（令和3年5月1日現在）

(1) 学級編成・在籍数（普通科・1学年定員男子40名）

在籍数	1学年	2学年	3学年	全校計86名 (8学級)
1組	13名	10名	10名	
2組	13名	10名	11名	
3組		9名	10名	
学年計	26名	29名	31名	

(2) 通学形態・住居地別生徒数

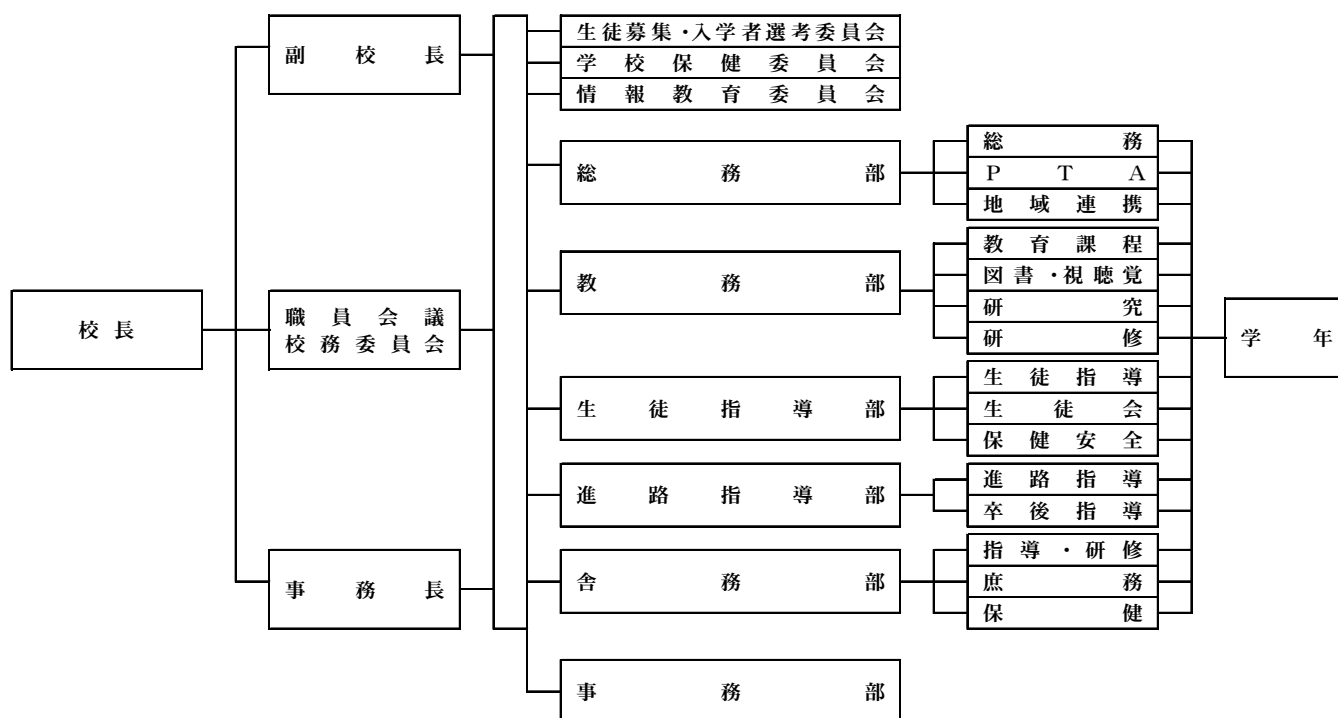
通学形態		住居地別			
自宅通学	12名	北海道		管内	31名
寄宿舎	74名			管外	36名
		愛媛県	1名	茨城県	1名
		埼玉県	1名	東京都	9名
		神奈川県	5名	大阪府	1名
		奈良県	1名		

9 職員構成

教育職							行政職			合計	学校医等			
校長	副校長	教諭	養護教諭	実習助手	教育支援員	寄宿舎指導員	事務長	事務職員	公務補		学校医	学校歯科医	学校薬剤師	産業医
1	1	23	1	2	1	15	1	2	1	48	1	1	1	1



10 運営組織図



11 年間授業計画・行事予定（令和3年5月1日 現在）

前期	4月10日～9月30日	始業式 学校祭 夏季休業 終業式	(4月10日) (7月26日～7月27日) (7月28日～8月17日) (9月30日)
後期	10月7日～3月24日	秋季休業 始業式 冬季休業 卒業式 修了式	(10月1日～10月6日) (10月7日) (12月25日～1月18日) (3月6日) (3月24日)

12 教育課程表

本校は、学校教育法施行規則130条2による各教科等を合わせた教育課程を編成しています。

		単位数
各教科別の指導	保健体育	4
	数 学	1
	英 語	1
	情 報	1
専門的な学習	Nsports Time	6
教科等を合わせた指導	作業学習	8
	自立学習	4
	芸 術	2
	日常生活の指導	5
領域別の学習	自立活動	1
	特別活動	1
総合的な探求の時間		1
合 計		35

<合わせた指導及び道徳>

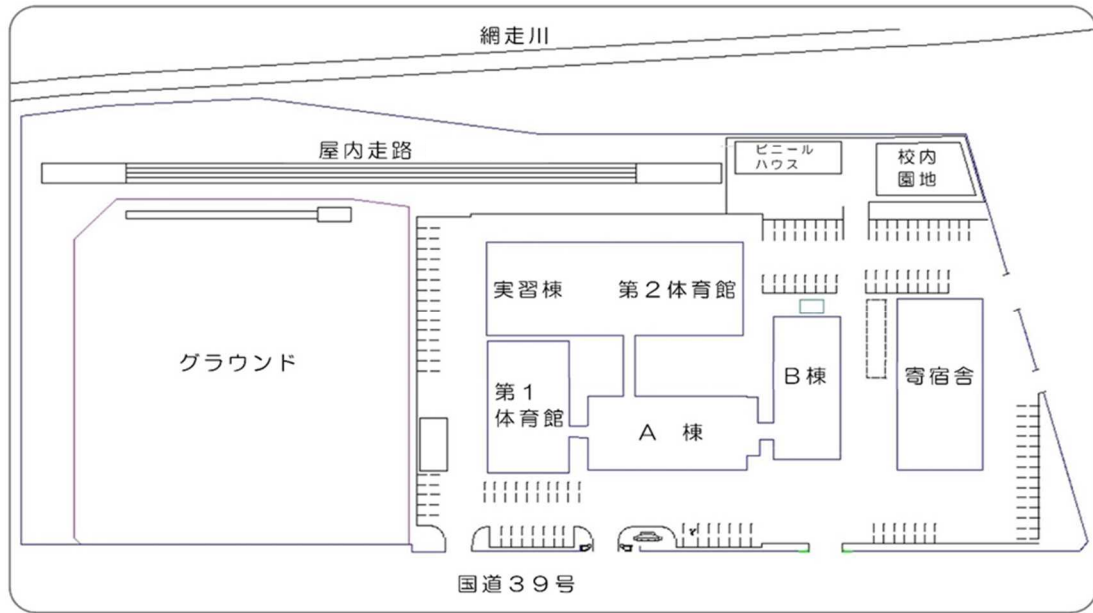
自立学習：自立活動と国語や理科、社会等の教科を合わせて行う
 芸 術：音楽と美術、自立活動を合わせて行う
 作業学習：職業と家庭科、自立活動を合わせて行う
 日常生活の指導：SHR、更衣、給食準備・片付け
 道徳は全教育活動を通して、適切に実施する

13 進路の状況

本校卒業生の進路状況

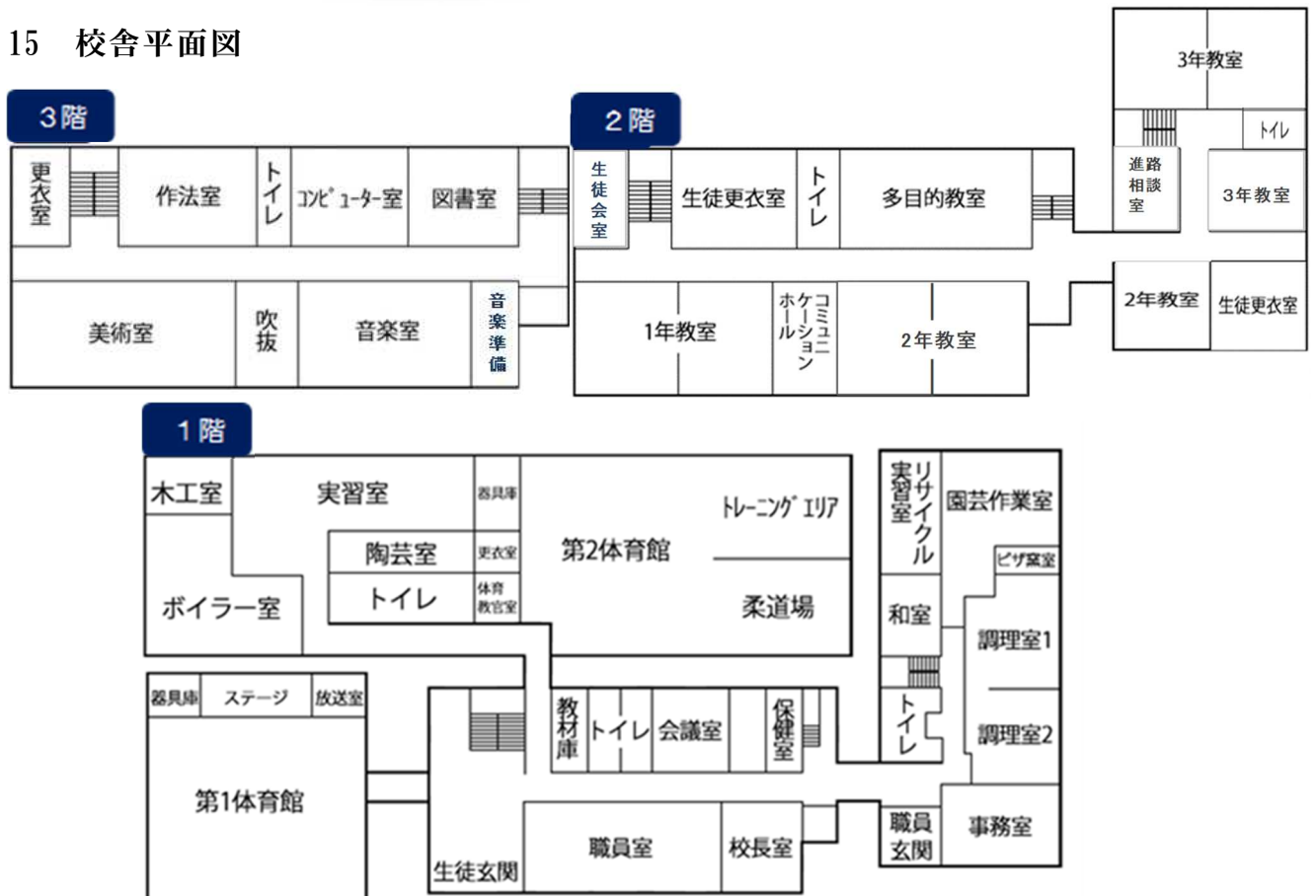
就労等種別			年度		合計	会社名・事業所名・学校名	
			令和元年度	令和2年度		令和元年度	令和2年度
就職	一般就労	一般企業	4	7	11	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人北見冬季スポーツ振興会（北見市） ・株式会社 日比谷花壇（神奈川県） ・株式会社 清香社（網走市） ・NPO法人遠軽町スポーツ協会（遠軽町） 	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社シンテック（旭川市） ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社（札幌市） ・株式会社 八洋（東京都） ・有限会社 道環（網走市） ・特別養護老人ホームはまゆう（神奈川県） ・株式会社 慈光（斜里町） ・有限会社 北光興産（美幌町）
		就労継続A型	0	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ちから カレーのちから（北見市）
訓練等給付	福祉的就労	就労継続B型	2	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌えくぼ福祉会「えくぼ」（美幌町） ・社福・永春会「フレジール秋桜」（千葉県） 	<ul style="list-style-type: none"> ・津別町手をつなぐ育成会「つむぎ」（津別町）
		就労移行支援	5	3	8	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人てくてく「カフェギャラリーてくてく」（長野県） ・くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ（釧路市） ・クリーンリースウェルフェア 3名（江別市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労促進センターはちのへ（青森県） ・サンライズヨピト（網走市） ・クリーンリースウェルフェア（江別市）
		自立訓練（生活訓練）	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆたかカレッジ長崎（長崎県） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆたかカレッジ高田馬場（東京都）
進学			5	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・東京リゾート＆スポーツ専門学校（東京都） ・名古屋市立中央高等学校（愛知県） ・道立北見高等技術専門学校 建築技術科 2名（北見市） ・道立札幌高等技術専門学校 食品加工科 北海道はまなす 食品能力開発センター（北広島市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・興学社高等学院（千葉県） ・オホーツク社会福祉専門学校 介護福祉科2名（北見市） ・道立札幌高等技術専門学校 食品加工科 北海道はまなす 食品能力開発センター（北広島市） ・東京リゾート＆スポーツ専門学校（東京都） ・釧路理容美容専門学校（釧路市） ・道立障害者職業能力開発校（砂川市）
合計			17	20	37		

14 校舎配置図

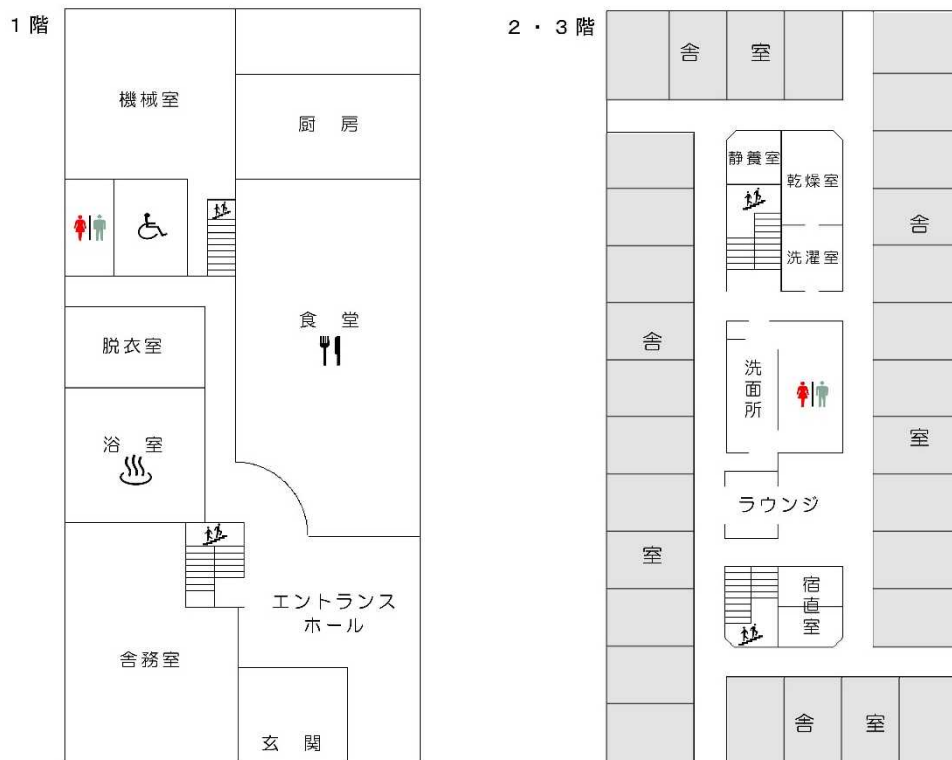


校地面積 25,408.27 m²
 校舎面積 12,286.38 m²
 体育館・グラウンド等 10,294.05 m²
 寄宿舍面積 2,827.84 m²

15 校舎平面図



16 寄宿舍平面図



寄宿舍日課表

- 6 : 30 ~ 起床 (布団たたみ、歯磨き、洗面、着替え、洗濯物取り込み)
- 7 : 20 ~ 朝食準備 (グループで準備)
- 7 : 30 ~ 朝食
- 8 : 00 ~ 登校準備 (部屋の荷物整理)
- 8 : 20 ~ 登校 (土日、祝日は部活又は自由時間)
- 8 : 40 ~ 学校授業
- 12 : 10 ~ 昼食準備
- 12 : 20 ~ 昼食
- 13 : 10 ~ 学校授業 (土日、祝日は部活又は自由時間)
- 15 : 35 ~ 下校 部活終了後下校
- 16 : 00 ~ 入浴、洗濯
- 17 : 45 ~ 入浴終了
- 17 : 50 ~ 夕食準備 (グループで準備)
- 18 : 00 ~ 夕食
- 18 : 30 ~ 歯磨き、自室の清掃、区域清掃 (廊下、浴室、食堂、玄関など)
- 19 : 00 ~ 自由時間
- 21 : 00 ~ 学習時間 (各フロアーに戻る。宿題、読書、明日の準備など)
- 21 : 50 ~ 就寝準備・消灯 (歯磨き、洗面、着替え)
- 22 : 00 ~ 就寝

寄宿舍名



ゆうこんしゃ



入学をご希望のみなさんへ 進学相談のご案内

本校を受検するにあたっては、事前に「進学相談」を受けるようお願いします。
生徒・保護者の皆さんが本校に実際訪れ、施設や環境を目で見て、肌で感じ、受検の判断をしてください。

- ☆ 令和4年度入学者選考検査を受検予定の生徒を対象とします。
- ☆ 進学相談は随時受け付けます。
- ☆ 【受付電話番号 0152-67-9141 進学相談担当 まで】
- ☆ 場所は原則として本校(日本体育大学附属高等支援学校)にて行います。
- ☆ 入学希望生徒とその保護者を基本とし、在籍校の担任等が同伴することも可能です。

本校に関する最新の情報は
ホームページをご覧ください

日体大附属

検索

<http://www.s-nittai.ed.jp>



入学選考検査のご案内

出願期間

11月 8日(月)～11月19日(金)

選考検査日

【東京会場・日本体育大学 東京・世田谷キャンパス】

11月27日(土)・11月28日(日)

【網走会場・日本体育大学附属高等支援学校】

12月 3日(金)・ 4日(土)

※どちらか都合のよい日を選択できます。

検査内容

行動観察、適性・運動検査及び保護者面談

合格発表

12月10日(金) 10:00

本人および在籍学校への通知、本校玄関掲示、Web発表

詳細は別途『入学募集要項』で確認願います。

公立学校との併願や 合格発表後でも出願できます

本校の入学選考は公立学校と試験日が異なりますので、本校と公立学校の両方を受験し、合格発表後にどちらに進学をするか選ぶことができます。公立特別支援学校の合格発表日以降でも受検することが可能です。(追加募集がある場合)

交通アクセス

都市間のアクセス

鉄道	札幌～網走(特急オホーツク) 1日4便 所要時間 札幌～網走 約5時間30分 旭川～網走 約3時間50分
市内バス	大曲行き 網走駅～大曲 約7分
航空機	千歳～女満別 約45分 1日7便 羽田～女満別 約105分 1日5便 中部～女満別 約115分 1日1便 関西～女満別 約125分 1日1便(夏季のみ)
空港線バス	網走行き 女満別空港～市営住宅前 約20分
都市間バス	札幌～網走 1日9便 所要時間 5時間50分



主要都市から
女満別空港までは
直行便が
出ています！

日本体育大学附属
高等支援学校



目印はコレ！



女満別空港からは、車で約20分！

国道39号を北上して、
大曲交差点を左折したら
学校はすぐそこ！